

建 築 設 計 業 務 委 託 特 記 仕 様 書

I 業務概要

1. 業 務 名 称 志摩消防署志摩分署・磯部分署等高台移転工事設計業務委託

2. 計画施設概要
本業務の対象となる施設(以下「対象施設」という。)の概要は次のとおりとする。
(1) 施 設 名 称 ①志摩消防署志摩分署 ②志摩消防署磯部分署
(2) 施設の場所 ①志摩市志摩町和具576-1他 ②志摩市磯部町迫間878-9
(3) 施 設 用 途 公益施設(消防分署)
平成31年国土交通省告示第98号 別添二 第 十二 号 第 1 類とする。

3. 適用
本特記仕様書(以下「特記仕様書」という。)に記載された特記事項については「◎」印のついたものを適用する。また「・」印のついたものは適用外とする。

4. 履行期間 契約日から 令和5年3月15日まで

5. 設計と条件

①志摩消防署志摩分署

(1) 敷地の条件
a. 敷地の面積 1,878㎡
b. 用途地域及び地区の指定 都市計画区域内 容積率200% 建ぺい率 60%

(2) 施設の条件
a. 施設の建築面積 633㎡
b. 主要構造 RC造もしくはS造※協議の上決定
c. 耐震安全性の分類
1) 構造体 II 類
2) 建築非構造部材 A 類
3) 建築設備 甲 類

耐震安全性の分類は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(平成25年3月29日付け国営計第126号、国営整第198号、国営設第135号)による。

(3) 建設の条件
a. 予定工事費 300,000 千円
b. 建設工期 約9ヶ月

②志摩消防署磯部分署

(1) 敷地の条件
a. 敷地の面積 1,200㎡
b. 用途地域及び地区の指定 都市計画区域内 容積率200% 建ぺい率 60%

(2) 施設の条件
a. 施設の建築面積 520㎡
b. 主要構造 RC造もしくはS造※協議の上決定
c. 耐震安全性の分類
1) 構造体 II 類
2) 建築非構造部材 A 類
3) 建築設備 甲 類

耐震安全性の分類は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(平成25年3月29日付け国営計第126号、国営整第198号、国営設第135号)による。

(3) 建設の条件

a. 予定工事費	250,000	千円
b. 建設工期	約9ヶ月	

II 業務仕様

本特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書」(平成20年3月31日付け国営整第176号(最終改訂令和3年3月25日付け国営整第210号))を準用するものとする。

1. 設計業務の内容及び範囲

(1) 一般業務の範囲

- a. 基本設計
 - ◎ 建築(総合)基本設計に関する標準業務
 - ◎ 建築(構造)基本設計に関する標準業務
 - ◎ 電機設備基本設計に関する標準業務
 - ◎ 機械設備基本設計に関する標準業務
- b. 実施設計
 - ◎ 建築(総合)実施設計に関する標準業務(意図伝達業務を除く)
 - ◎ 建築(構造)実施設計に関する標準業務(意図伝達業務を除く)
 - ◎ 電機設備実施設計に関する標準業務(意図伝達業務を除く)
 - ◎ 機械設備実施設計に関する標準業務(意図伝達業務を除く)

(2) 追加業務の内容及び範囲

- ◎ 積算業務
 - ◎ 建築積算
 - ◎ 電機設備積算
 - ◎ 機械設備積算

積算数量算出書の作成、単価作成資料の作成
見積の徴集、見積検討資料の作成等
- ◎ 関係法規等に基づく各種申請手続き業務
(確認申請業務、構造計算適合性判定・建築エネルギー消費性能適合性判定)
- ◎ 建築物利用に関する説明書の作成
- ◎ 概略工事工程表の作成
- ◎ 付属施設の設計
 - 志摩分署: 志摩特消分団車庫、志摩第1分団車庫
 - 磯部分署: 川辺支団車庫、川辺支団詰所
- ◎ 中長期保全計画書の作成
- ◎ ライフサイクルコストの算出評価検討
- ◎ ZEBの検討、調査

2. 業務の実施

(1) 一般事項

- a. 基本設計業務は、提示された設計と条件及び適用基準に基づき行う。
- b. 実施設計業務は、提示された設計と条件、基本設計図及び適用基準に基づき行う。
- c. 積算業務は、監督職員の承諾を受けた実施設計図書及び適用基準に基づき行う。
- d. 監督職員の指示により、「設計説明書」に必要事項を記入のうえ、関連する資料とともに監督職員に提出する。

(2) 適用基準等

本業務に国土交通省が制定する以下に掲げる技術基準等を適用する。受注者は業務の対象である施設の設計内容及び業務の内容が技術基準等に適合するよう業務を実施しなければならない。

a. 共 通	(年 版 等)
◎ 官庁施設の基本的性能基準	(令和 2年)
◎ 官庁施設の企画書及び企画書対応「確認書」の標準的書式	(令和 3年)
◎ 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準	(平成25年)
◎ 官庁施設の総合耐震診断・改修基準	(平成 8年)
◎ 官庁施設の環境保全性基準	(令和 3年)
◎ 三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条約整備マニュアル	(令和 3年)
◎ 公共建築工事積算基準	(令和 3年)
◎ 公共建築工事共通費積算基準	(平成28年)
◎ 公共建築工事標準単価積算基準	(令和 3年)
◎ 公共建築工事積算基準等資料	(令和 3年)
◎ 建築物解体工事共通仕様書	(令和 4年)
◎ 三重県建設副産物処理基準	(令和 3年)
b. 建 築	
◎ 建築工事設計図書作成基準	(令和 2年)
◎ 建築工事設計図書作成基準の資料	(令和 2年)
・ 敷地調査共通仕様書	(令和 4年)
◎ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)	(平成31年)
◎ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)	(平成31年)
◎ 建築設計基準	(令和元年)
◎ 建築構造設計基準	(令和 3年)
◎ 建築工事標準詳細図	(平成28年)
c. 建築積算	
◎ 公共建築数量積算基準	(平成29年)
◎ 公共建築工事内訳書標準書式(建築工事編)	(平成30年)
◎ 公共建築工事見積標準書式(建築工事編)	(令和 3年)
◎ 営繕工事積算チェックマニュアル(建築工事編)	(令和 3年)
d. 設 備	
◎ 建築設備計画基準	(令和 3年)
◎ 建築設備設計基準	(令和 3年)
◎ 建築設備工事設計図書作成基準	(令和 3年)
◎ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)	(平成31年)
◎ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)	(平成31年)
◎ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)	(平成31年)
◎ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)	(平成31年)
◎ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)	(平成31年)
◎ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)	(平成31年)
◎ 建築設備耐震設計・施工指針	(2014年)
e. 設備積算	
◎ 公共建築設備数量積算基準	(平成29年)
◎ 公共建築工事内訳書標準書式(設備工事編)	(平成30年)
◎ 公共建築工事見積標準書式(設備工事編)	(令和 3年)
◎ 営繕工事積算チェックマニュアル(電気・設備工事編)	(令和 3年)

(3) 業務計画書

- a. 受注者は、契約締結後14日以内に業務計画書を作成し、監督職員に提出する。
- b. 業務計画書には、次の内容を記載する。
 - ① 業務工程
 - ② 管理実施体制
 - ③ 業務実施体制
 - ④ 協力者のある場合は、協力者の概要、担当する業務内容及び担当技術者
 - ⑤ その他、監督職員が必要に応じ指定する事項

(4) 管理技術者の資格要件

- 業務の実施にあたっては、次の資格要件を有する管理技術者等を適切に配置した体制とする。なお「管理技術者等」とは、管理技術者、担当技術者、建築設備資格者を総称するという(兼任は不可とする)。
- a 管理技術者の資格要件は次による。
 - ◎ 建築士法(昭和25年法律第202号。以下「建築士法」という。)第2条2項に規定する一級建築士
 - b 意匠主任担当技術者の資格要件は次による。
 - ◎ 建築士法第2条第2構に規定する一級建築士
 - c 構造主任担当技術者の資格要件は次による。
 - ◎ 建築士法第2条第2構に規定する一級建築士
 - d 設備主任担当技術者の資格要件は次のいずれかによる。
 - ◎ 建築士法第10条の2第2項に規定する設備設計一級建築士
 - ◎ 建築士法施行規則(昭和25年建設省令第38条)第17条の18に規定する建築設備士
- (注)「管理技術者」とは、契約の履行にあたり、業務の管理及び統括を行う者をいう。
また、「主任技術者」とは、管理技術者の下で各分野における担当技術者を統括する役割を担う者をいう。

(5) 貸与資料等

- 必要な資料は適宜貸し与える
- | | | | | | |
|-------|-------|---|-------|-------|---|
| 貸与場所(| 消防総務課 |) | 貸与時期(| 受託期間 |) |
| 返却場所(| 消防総務課 |) | 返却時期(| 完了検査後 |) |

(6) 打合せ及び記録

- 打合せは次の時期に行い、速やかに記録を作成し、監督職員に提出する。
- (a) 業務着手時
 - (b) 監督職員又は管理技術者が必要と認めた時
 - (c) その他

(7) その他、業務の履行に係る条件等

- (a) 成果物の提出場所 (営繕室)
- (b) 成果物の取扱いについて
提出されたCADデータについては、当該施設に係る工事の請負業者に貸与し、当該工事における施工図の作成、当該施設の完成図の作成及び完成後の維持管理に使用することがある。
- (c) 写真の著作権の権利等について
受注者は写真の撮影を再委託する場合は、次の事項を条件とすること。
 - ① 写真は、国が行う事務並びに国が認めた公的機関の広報に無償で使用するができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
 - ② 次に掲げる行為をしてはならない。(ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。)
 - 1) 写真を公表すること。
 - 2) 写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

- (d) 業務の再委託
- (a) 構造設計又は構造積算業務については、一級建築士に再委託すること
 - (b) 設備設計補助業務を必要とする場合は、建築設備士に再委託すること。
 - (c) 設備工事監理補助業務を必要とする場合は、公共建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)又はそれに準ずる仕様書を適用した工事の工事監理を実施した経験を有する者、若しくは、監督職員がそれに準ずる能力があると認めた者に再委託すること。
- (e) 成果物の提出期限について
- 設計工期には、監督職員による照査期間等を見込んでいるため、成果品(製本、原図は除く)については、設計工期末の30日以上前に提出すること。また概算工事費を積算し令和4年10月31日までに提出すること。

3. 成果物、提出部数等

(1) 実施設計(各分署ごとに作成)

成果物等	原図	発注用 原図 の写し	製本図面	適用
a. 建築(総合) ◎ 建築(総合)設計図 建築物概要書 ◎ 工事区分表 ◎ 特記仕様書 ◎ 仕上表 ◎ 面積表及び求積図 ◎ 配置図・敷地案内図 ◎ 平面図 ◎ 断面図 ◎ 立面図 ◎ 矩計図 ◎ 展開図 ◎ 天井伏図 ◎ 平面詳細図 ◎ 部分詳細図(断面含む) ◎ 建具表 ◎ 外構図 ◎ 総合仮設計画図	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出
b. 建築(構造) ◎ 建築(構造)設計図 ◎ 仕様書 ◎ 構造基準図 ◎ 伏図 ◎ 軸組図 ◎ 部材断面表 ◎ 各部断面図 ◎ 標準詳細図 ◎ 各部詳細図 ◎ 構造計算書 (保有水平耐力が、必要保有水平耐力に重要度 計数を乗じて得た数値以上であることが確認でき る資料)	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出

成果物等	原図	発注用 原図 の写し	製本図面	適用
c. 電気設備 ◎ 電気設備設計図 ◎ 特記仕様書 ◎ 配置図・敷地案内図 ◎ 電灯設備・配線図 ◎ 動力設備・配線図 ◎ 発電設備図 ◎ 受電設備図 ◎ 弱電設備・配線図 ◎ 各種詳細図	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出
d. 機械設備 ◎ 機械設備設計図 ◎ 特記仕様書 ◎ 配置図・敷地案内図 ◎ 衛生設備図 ◎ 機器リスト ◎ 給排水設備図 ◎ 空調設備図 ◎ 各種詳細図	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出
e. 建築積算 ◎ 建築工事積算数量算出書 ◎ 建築工事積算数量調書 ◎ 見積書等関係資料 ◎ 営繕工事積算チェックリスト(建築) ◎ 工事設計仕様書(内訳書)	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出
f. 電気設備積算 ◎ 電気設備工事積算数量算出書 ◎ 電気設備工事積算数量調書 ◎ 見積書等関係資料 ◎ 営繕工事積算チェックリスト(電気) ◎ 工事設計仕様書(内訳書)	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出
g. 機械設備積算 ◎ 機械設備工事積算数量算出書 ◎ 機械設備工事積算数量調書 ◎ 見積書等関係資料 ◎ 営繕工事積算チェックリスト(機械) ◎ 工事設計仕様書(内訳書)	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出
h. その他 ◎ 設計説明書 ◎ 概略工事工程表 ◎ 機器、工法選定比較検討資料 ◎ 主要構造比較検討資料 ◎ 中長期保全計画書 ◎ ライフサイクルコスト検討書 ◎ ZEB検討書	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出

成果物等	原図	発注用 原図 の写し	製本図面	適用
i. 資料 ◎ 各種技術資料 ◎ 構造計算データ (保有水平耐力が、必要保有水平耐力に重要度 計数を乗じて得た数値以上であることが確認でき る資料) ◎ 各記録書	各1部	各2部	A3縮小版 2部	USB若しくはCD データ提出

- (注) : 建築(構造)の成果物は、建築(意匠)実施設計の成果物の中に含めることができる。
- : 設計図は適宜、追加してもよい。
- : 成果物は、監督職員の指示により、製本とする。
- : 電子納品の形式等については下記を標準とし、詳細は監督職員と協議する。
- ・各成果物をCD1枚にまとめる(1枚提出)
- : 設計仕様書について数量変更に伴う設計変更仕様書のフォーマットのデータを作成すること。
- : 入札用CD(図面pdf版・金抜き参考仕様書)の有無については、監督職員との協議による。

工事設計概要書

○以下の工事を行うために実施設計を行う。

1. 目的

志摩市個別施設計画に基づき、分署を高台にへ移転することにより、津波等の災害発生時においても職員の安全及び消防機材を確保し、消防力の充実強化を図るとともに、既設施設が抱える老朽化棟の課題を解決する。
また、同じ地区の消防団施設についても移転し、複合化等することで、公共施設数の削減及び常備消防・日常備消防の連携がとれるため、消防力を強化し、市民生活の安心・安全の確保に繋げることを目的とする。

2. 施設概要

①	名 称：志摩消防署志摩分署
	建築年度：令和5年度（予定）
	構 造：RC造もしくはS造 ※主要構造の比較により構造変更有り
	延べ面積：約633㎡
②	名 称：志摩方面隊特消分団車庫
	建築年度：令和5年度（予定）
	構 造：S造 平屋建て
	面 積：約23.5㎡
③	名 称：志摩方面隊第1分団車庫
	建築年度：令和5年度（予定）
	構 造：S造 平屋建て
	面 積：約70.5㎡
④	名 称：志摩消防署磯部分署
	建築年度：令和5年度（予定）
	構 造：RC造もしくはS造 ※主要構造の比較により構造変更有り
	延べ面積：約520㎡
⑤	名 称：川辺支団車庫
	建築年度：令和5年度（予定）
	構 造：S造 平屋建て
	面 積：約23.5㎡
⑥	名 称：川辺支団詰所
	建築年度：令和5年度（予定）
	構 造：SRC造（現磯部支所の一部改修）
	面 積：約28.3㎡

3. 設計内容

① 志摩消防署志摩分署(職員数15名(1日の勤務者4～6名)) 参考資料

階数	用途	要求面積 (㎡程度)	備考
1F	車庫	160	救急車1・タンク車1・搬送車1・広報車1 ※倉庫6㎡×2、電気室4.5㎡含む
	出動準備室	15	回転式ロッカー15名分
	消毒室建救急資器材室	9	
	トイレ	26.5	男性用 10㎡ 女性用 10㎡ 多目的用 6.5㎡
	消毒専用室（シャワー室）	5	車庫からの直接入室
	食堂兼待機室	25	
	事務室	60	受付含む
1F or 2F	浴室・洗面室（男性用）	6.5	
	特消分団詰所	21.8	待機場所 18.5㎡ 押入 3.3㎡ ※トイレ・炊事場は分署施設共用
	第一分団詰所	40.3	待機場所 37㎡ 押入 3.3㎡ ※トイレ・炊事場は分署施設共用
2F以上	分署室	15	
	トイレ（男性用）	5	小便器1・洋式便器1
	トイレ（女性用）	5	洋式便器2
	仮眠室（男性用）	49	7㎡/室×7名分
	仮眠室（女性用）	15	寝室、浴室、洗濯室
	トレーニングルーム	25	
	書庫・倉庫	20	
	会議室	70	
外周部	ホース乾燥棟	H15m 12口	
	国旗掲揚ポール	H9m 1基	
	掲示板	1基	H1.9m・W1.8m
	訓練用地・ホース洗浄用地	1辺25四方以上	
	来客用駐車場	10台分	
	防火水槽（リターン式）	40t以上	リターン式 訓練用・非常時用
	非常用水	50 t 以上	雨水貯水型・トイレ等生活用 建物地下でも可
	放水壁	-	
その他	自家発電設備	1基	8.0kW 災害対応（72h軽油144L）

- ・ 給排水設備一式
- ・ 電気設備一式

② 志摩方面隊特消分団車庫

- ・ 普通積載車1台分の車庫

③ 志摩方面隊第1分団車庫

- ・ 普通積載車1台・軽積載車1台・人員輸送車（普通1BOX）1台分の車庫

④ 志摩消防署磯部分署(職員数15名(1日の勤務者4～6名))

参考資料

階数	用途	要求面積 (㎡程度)	備考
1F	車庫	160	救急車1・タンク車1・搬送車1・広報車1 ※倉庫6㎡×2、電気室4.5㎡含む
	出動準備室	15	回転式ロッカー15名分
	消毒室建救急資器材室	9	
	トイレ	26.5	男性用 10㎡ 女性用 10㎡ 多目的用 6.5㎡
	消毒専用室(シャワー室)	5	車庫からの直接入室
	食堂兼待機室	25	
	事務室	60	受付含む
1F or 2F	浴室・洗面室(男性用)	6.5	
2F以上	分署室	15	
	トイレ(男性用)	5	小便器1・洋式便器1
	トイレ(女性用)	5	洋式便器2
	仮眠室(男性用)	49	7㎡/室×7名分
	仮眠室(女性用)	15	寝室、浴室、洗濯室
	トレーニングルーム	25	
	書庫・倉庫	20	
	会議室	30	
外周部	ホース乾燥棟	H15m 12口	
	国旗掲揚ポール	H9m 1基	
	掲示板	1基	H1.9m・W1.8m
	訓練用地・ホース洗浄用地	1辺25四方以上	
	来客用駐車場	10台分	
	防火水槽(リターン式)	40t以上	リターン式 訓練用・非常時用
	非常用水	50 t 以上	雨水貯水型・トイレ等生活用 建物地下でも可
	放水壁	-	
その他	自家発電設備	1基	8.0kW 災害対応(72h軽油144L)

- ・給排水設備一式
- ・電気設備一式

⑤ 川辺支団車庫

- ・普通積載車1台分の車庫

⑥ 川辺支団詰所

- ・磯部支所の一部を改修し、詰所として利用

4. 設計と条件

- ① 志摩市消防本部志摩分署・磯部分署高台移転事業基本計画に則り、設計を行う。
- ② 設備機器、工法(照明、空調)についてはライフサイクルコスト、使いやすさ、安全性、環境を意識した選定を行うこと。
設備機器、工法の選定に関しては比較表、各種資料を整理し提案する。
- ③ 中長期保全計画の作成
 - ア 施設維持のための設備機器等の更新時期、概算工事費のとりまとめ
 - イ 法定点検等(特殊機器の任意点検含む)の時期、点検費のとりまとめ
- ④ ZEB化への調査・分析・検討
- ⑤ LCCの算出・評価・検討

5. その他

- ・建築確認申請業務
- ・追加業務については特記仕様書による。
- ・設備機器の選定については安全性、環境、経済性に配慮し監督職員と協議すること。
- ・主要構造を比較検討し資料を提出する。
- ・諸室の面積は参考であり、監督職員との協議により決定する。
※その他、詳細は監督職員との協議により決定する。